

児童養護施設で暮らす子どもたちを対象とした
宿泊体験・自然体験プログラム
～国立青少年教育振興機構の取組み～

【趣 旨】

児童養護施設で暮らす、虐待を受けた子どもや保護者のない子どもを対象に、学生ボランティアなどの協力も得ながら、集団宿泊体験や自然体験活動の機会を提供します。

子どもたちは自己肯定感を高め、他人と協力する気持ちや相手を思いやる心を養うとともに、改めて自分たちを支えてくれる多くの人がいることを肌で感じます。

○夜須高原サマーチャレンジキャンプ～夏の終わりの大冒険～

国立夜須高原青少年自然の家（福岡県朝倉郡筑前町）

1 日程 平成22年8月23日（月）～26日（木） 3泊4日

2 参加者 小学生24名

3 主な活動内容

○鉄道移動 生活力を高めるため子どもたちだけで自然の家へ移動

○買い物体験 初めての店での店員とのふれあい

○野外炊事 協力して作る食事やおにぎり作り、決められた寮の食事とは異なるメニュー作りを含む料理コンテスト

○^{ほうまんざん}宝満山登山（1泊2日テント泊）

励ましあいながら重い荷物を背負い往復5時間の登山に挑戦、山頂でテント泊

○読み聞かせ 焚き火を囲みながらボランティアが聞かせる民話

4 スタッフの支援体制 24名

○夜須高原青少年自然の家職員や児童養護施設職員のほか、福岡教育大学の学生10名がボランティアとして活動や生活をサポート、班のリーダーや本部運営補助として協力



* スタッフやボランティアから登山の説明を真剣に聞き入る子ども達

○ 妙高ひまわりキャンプ ～ 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）

- 1 日程 平成22年8月18日（水）～20日（金）2泊3日
- 2 参加者 47名 幼児7名、小学生20名（後半1泊2日に参加）
中学生10名、高校生10名
- 3 主な活動内容
 - スプーン作り 自分の力で自分の思い出となる作品づくり
 - 野外炊事 普段、包丁を握ったことがなく、食事を作る経験もない子どもたちが役割分担を決め、協力して作るカレーライス、自分で作ったスプーンでの食事
 - 奉仕作業 自分が社会の役に立っていることを実感してもらうための施設内の清掃活動、ゴミ拾い
 - 星空観察 外部研修指導員が自然を感じとってもらうために指導
 - キャンプファイヤー 幼児から高校生全員が参加しての交流
- 4 スタッフの支援体制
 - 妙高自然の家の職員や外部研修指導員、児童養護施設職員のほか、上越教育大学の大学院生5名がボランティアとして活動や生活をサポート、班のリーダーとなり、毎晩、子どもたちと一緒に部屋で就寝